

目 次

Ⅱ. 総合研究報告

1. 新生児期から高年期まで対応した、好酸球性消化管疾患および稀少消化管持続炎症症候群の診断治療指針、検査治療法開発に関する研究----1
国立成育医療研究センター 免疫アレルギー・感染研究部 野村伊知郎
2. 新生児期から高齢期まで対応した、好酸球性消化管疾患および稀少消化管持続炎症症候群の診断治療指針、検査治療法開発に関する研究----16
島根大学医学部内科学講座（内科学第二） 木下芳一
3. 新生児期から高年期まで対応した、好酸球性消化管疾患および稀少消化管持続炎症症候群の診断治療指針、検査治療法開発に関する研究---- 25
福岡大学筑紫病院 内視鏡部 八尾建史
4. 新生児期から高年期まで対応した、好酸球性消化管疾患および稀少消化管持続炎症症候群の診断治療指針、検査治療法開発に関する研究-----31
群馬県立小児医療センター アレルギー感染免疫・呼吸器科 山田佳之

Ⅲ. 資料

1. Minds 準拠診療ガイドライン(Minds ガイドラインセンター承認前)- 38
2. 新生児-乳児食物蛋白誘発胃腸炎（新生児-乳児消化管アレルギー）診断治療指針----- 69
3. International consensus guidelines for the diagnosis and management of food protein-induced enterocolitis syndrome: Executive summary - Workgroup Report of the Adverse Reactions to Foods Committee, American Academy of Allergy, Asthma & Immunology（欧米の FPIES 診療ガイドライン）-----102

Ⅳ. 研究成果の刊行に関する一覧表(別紙4) -----122

V. 研究班名簿-----135